

県内経済の動き (2018年1月)

基調判断 緩やかに持ち直している

製造業	→	横ばいの動き	公共工事	→	持ち直しの動きに一服感
大型小売店販売動向	➔	持ち直しの兆し	観光	➔	持ち直しの兆し
乗用車販売動向	→	横ばいの動き	雇用	➔	高水準で推移
住宅着工	➔	持ち直しの兆し	企業倒産	→	低水準が続く

[直近の3カ月の変化の方向] ➔上向き ➔横ばい ➔下向き

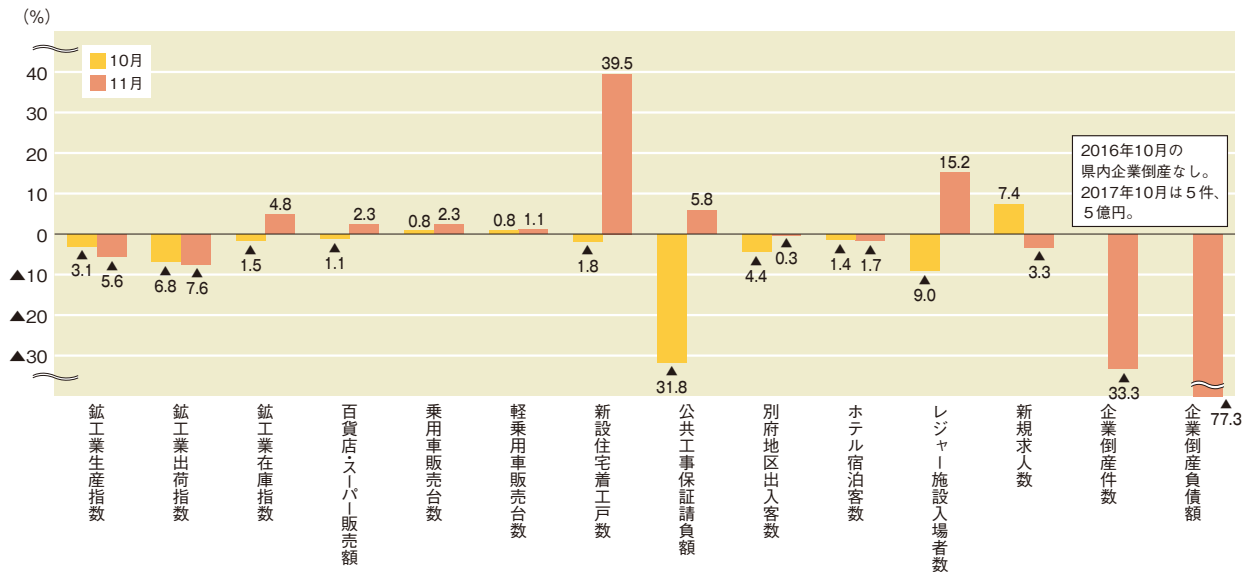
注) 1. 大型小売店販売動向は、百貨店・スーパー・専門量販店(家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター)の販売動向

大分県の主要経済指標の動き

	2016.11	12	2017.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
鉱工業生産指数	○	△	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●
百貨店・スーパー販売額	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
乗用車販売台数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軽乗用車販売台数	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
新設住宅着工戸数	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	●	○
公共工事保証請負額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
別府地区出入客数	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●
ホテル宿泊客数	●	○	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○
レジャー施設入場者数	●	○	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	○
新規求人数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
企業倒産件数	○	○	○	○	○	○	○	△	○	●	●	●	○
企業倒産負債額	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	●	○
プラス指標の割合	66.7	75.0	66.7	58.3	50.0	83.3	75.0	66.7	66.7	41.7	33.3	25.0	66.7

注) 1. 指標は前年同月比較 ○=前年比好転 △=前年並み ●=前年比悪化
 2. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分
 3. ホテルは県内主要宿泊施設の計、レジャー施設は別府および隣接地区の計
 4. 別府地区出入客数はJR別府駅、大分空港乗降客数、別府IC乗降車数計

県内主要経済指標 (10月・11月分の前年同月比)

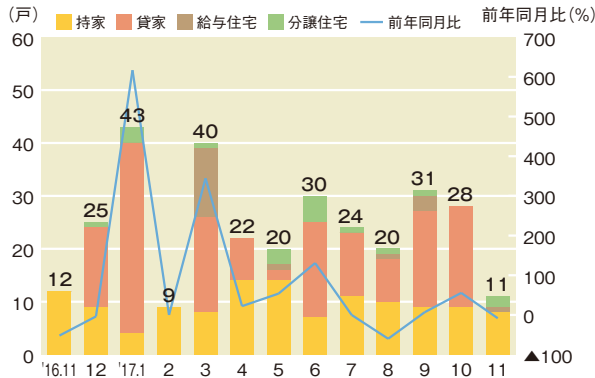


注) 1. ホテルは県内主要宿泊施設の計、レジャー施設は別府および隣接地区の計
 2. 別府地区出入客数はJR別府駅、大分空港乗降客数、別府IC乗降車数計

● 由布地区の経済指標

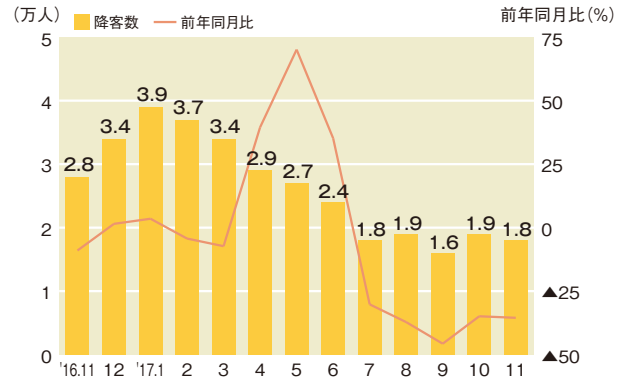
由布市の新設住宅着工戸数は、2017年9月から11月までの3ヵ月間の累計で70戸と、前年同期比11戸増加しました。また、同期間の由布院駅降客数は前年同期比38.8%減の約5万人でした。九州北部豪雨で鉄橋が流失したことに伴いJR久大本線の一部区間（日田－光岡間）が不通となっている影響等で、7月以降は前年同期比マイナスが続いています。

新設住宅着工戸数



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

由布院駅降客数



資料) JR由布院駅

● 県内企業の景況意識調査 (2017年10～12月期)

緩やかに改善

◎業況判断

【今期】今期（2017年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、前期比4.5ポイント上昇の▲7.2となりました。

BSIの内訳をみると、「よくなった」と回答した企業は前期と同水準の11.7%、「悪くなった」は同4.5ポイント減の18.9%、「変わらない」は同4.4ポイント増の69.4%となりました。

業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』の4業種で改善しました。

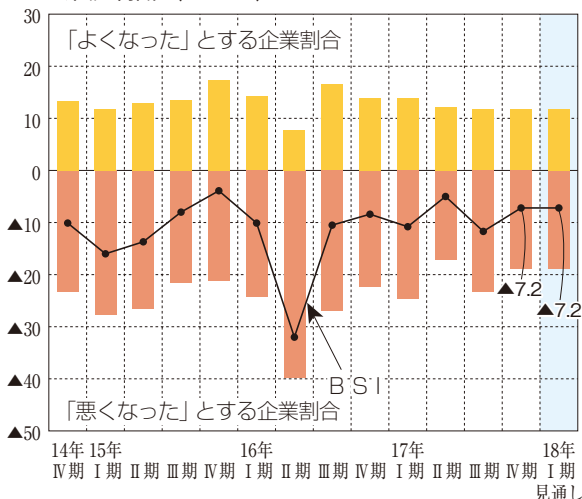
【来期】来期（2018年1～3月期〈Ⅰ期〉）の業況判断BSIは、今期と同水準の▲7.2となる見通しです。

BSIの内訳をみると、「よくなる」と回答した企業は今期比0.1ポイント増の11.8%、「悪くなる」は同0.1ポイント増の19.0%、「変わらない」は同0.2ポイント減の69.2%となる見通しです。

業種別のBSIは、『建設業』『金融・不動産業』『サービス業』の3業種で改善する見通しです。

県内企業の景況感は、2016年Ⅱ期に熊本地震の影響で大幅に落ち込んだ後、翌期には震災前の水準まで回復。その後は緩やかな持ち直し基調にあるものの、2017年7月に九州北部豪雨、9月に台風18号による水害と大規模な災害が相次ぎ、10月も週末に2度台風が接近し小売業などで影響を受けており、県内企業の景況感は本格的な回復には至っていません。

業況判断 (BSI)



業況判断指数内訳 (BSI)

	2017年Ⅱ期	2017年Ⅲ期	2017年Ⅳ期	2018年Ⅰ期見通し
鉱業	0.0	100.0	100.0	0.0
建設業	3.5	7.2	6.2	15.6
製造業	▲10.3	▲14.2	▲6.8	▲8.2
卸・小売業	▲14.7	▲16.9	▲16.7	▲22.0
金融・不動産業	▲14.3	0.0	▲14.3	0.0
運輸業	5.9	6.2	12.5	12.5
サービス業	10.5	▲25.7	▲15.2	▲12.1
全産業	▲5.0	▲11.7	▲7.2	▲7.2

*BSI (Business Survey Index) とは、企業経営者の業況に関する判断等を「よくなる・よくなった」、「変わらない」、「悪くなる・悪くなった」という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものです。BSIは次の数式で求められます。①(よくなる)+(変わらない)+(悪くなる)=100%とします。②(変わらない)の回答分を除きます。③BSI=(よくなる)-(悪くなる)で計算します。BSIが前期を上回れば景況は改善、前期を下回れば悪化という見方をします。